

自民案

衆院
比例

31議席削減 道理・根拠なし

日本共産党 山添政策委員長が批判

会見動画は
こちらから

YouTube



記者会見する山添政策委員長＝23日、国会内
(写真はしんぶん赤旗提供)

山添拓政策委員長は23日の記者会見で、自民党が22日に示した衆院比例定数31削減案は道理も根拠もない案だと厳しく批判し、民意を削る「定数削減に反対だ」と表明しました。

議席の役割を真剣に考えよ

自民党は、定数31削減の理由に人口減少を挙げ、2015年の人口と30年の推計人口を比べ、6.7%減少するとの数字を示しています。

山添氏は「人口減少を削減の理由として持ち出すのであれば、人口比で世界的に少ない日本の議員数をどう考えるのか」と述べ、現行の衆院定数465は歴史的にみても少ないと指摘。人口に応じて定数を減らすというなら、人口が現在の半分以下だった1925年の男子普通選挙時に466だった定数は、現在倍になっていなければならないとし、「この10年ほどだけを取り出して削減するというのは道理がない」と批判しました。

また、31の定数削減を比例代表だけで行う根拠もないとして、「何重にも理屈に合わない提案だ」と強調。多様な民意を国会に反映し、行政監視の機能を強めることこそ必要だとして、「かけがえのない民意を届ける国会の議席の役割を真剣に考えるべきだ」と主張しました。

OECD加盟国の人口100万人当たりの議会の定数

(第一院「下院」)(参議院常任委員会調査室・特別調査室「経済のプリズム」No207から)

アイスランド	176.5
ルクセンブルグ	97.7
エストニア	76.2
ラトビア	52.1
リトアニア	50.5
スロベニア	43.3
フィンランド	36.2
スウェーデン	34.1
アイルランド	32.6
ノルウェー	31.7
デンマーク	30.8
ギリシャ	28.0
スロバキア	27.5
ニュージーランド	24.4
スイス	23.5
ポルトガル	22.4
オーストリア	20.7
ハンガリー	20.4
チェコ	18.7
イスラエル	13.3
ベルギー	13.1
ポーランド	12.1
コスタリカ	11.3
イタリア	10.4
英国	9.7
カナダ	9.0
フランス	8.9
ドイツ	8.9
オランダ	8.7
チリ	8.1
スペイン	7.5
トルコ	7.3
オーストラリア	6.0
韓国	5.8
メキシコ	4.0
日本	13.7
コロンビア	3.5
米国	1.3

ドント式とサンラグ式

現行のドント式は、各政党の比例総得票数を1, 2, 3, 4...と順に自然数で割り、産出された数値を大きい順に並べ、議席を配分する方式です。

サンラグ式は、各党の総得票数を1, 3, 5, 7...の奇数で割るという違いがあります。ドント式よりも二つ目以降の数値が小さくなるため、中小政党に有利だとされます。今回提案された修正サンラグ式では、最初の奇数(1)を1.4に置き換えます。

各方式の比較

政党	A党	B党	C党	D党
得票数	50	28	17	9
1	50.0	28.0	17.0	9.0
2	25.0	14.0	8.5	4.5
3	16.7	9.3	5.7	3.0
4	12.5	7.0	4.3	2.3
5	10.0	5.6	3.4	1.8
議席数	5	2	1	0

政党	A党	B党	C党	D党
得票数	50	28	17	9
1.4	35.7	20.0	12.1	6.4
3	16.7	9.3	5.7	3.0
5	10.0	5.6	3.4	1.8
7	7.1	4.0	2.4	1.3
9	5.6	3.1	1.9	1.0
議席数	4	2	1	1

しんぶん赤旗

日刊紙電子版
「最大2か月無料」
キャンペーン



購読・お試
し
こちらから

東京
民報

ご連絡・ご要望は 03-5972-1621、FAX03-5972-1590
2026年10月号外 日本共産党の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9平和会館5階)1965年11月12日 第三種郵便物認可

高市政権の民意切り捨てストップ

日本共産党
参議院議員

山添 拓



自民案

衆院
比例

31議席削減 道理・根拠なし

日本共産党 山添政策委員長が批判

会見動画は
コチラから

YouTube



記者会見する山添政策委員長＝23日、国会内
(写真はしんぶん赤旗提供)

山添拓政策委員長は23日の記者会見で、自民党が22日に示した衆院比例定数31削減案は道理も根拠もない案だと厳しく批判し、民意を削る「定数削減に反対だ」と表明しました。

議席の役割を真剣に考えよ

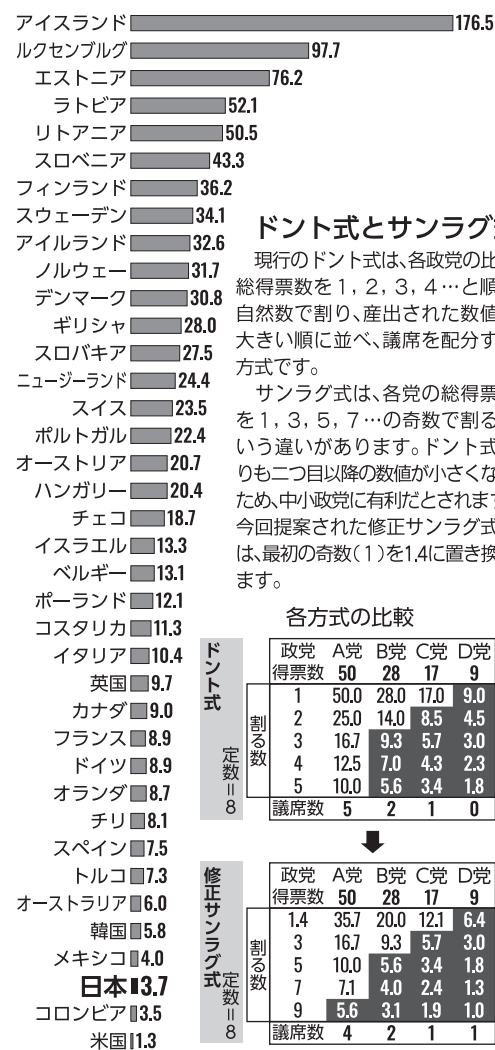
自民党は、定数31削減の理由に人口減少を挙げ、2015年の人口と30年の推計人口を比べ、6.7%減少するとの数字を示しています。

山添氏は「人口減少を削減の理由として持ち出すのであれば、人口比で世界的に少ない日本の議員数をどう考えるのか」と述べ、現行の衆院定数465は歴史的にみても少ないと指摘。人口に応じて定数を減らすというなら、人口が現在の半分以下だった1925年の男子普通選挙時に466だった定数は、現在倍になっていなければならないとし、「この10年ほどだけを取り出して削減するというのは道理がない」と批判しました。

また、31の定数削減を比例代表だけで行う根拠もないとして、「何重にも理屈に合わない提案だ」と強調。多様な民意を国会に反映し、行政監視の機能を強めることこそ必要だとして、「かけがえのない民意を届ける国会の議席の役割を真剣に考えるべきだ」と主張しました。

OECD加盟国の人口100万人当たりの議会の定数

(第一院「下院」)(参議院常任委員会調査室・特別調査室「経済のプリズム」No207から)



ドント式とサンラグ式

現行のドント式は、各政党の比例総得票数を1, 2, 3, 4...と順に自然数で割り、産出された数値を大きい順に並べ、議席を配分する方式です。

サンラグ式は、各党の総得票数を1, 3, 5, 7...の奇数で割るという違いがあります。ドント式よりも二つ目以降の数値が小さくなるため、中小政党に有利だとされます。今回提案された修正サンラグ式では、最初の奇数(1)を1.4に置き換えます。

各方式の比較

ドント式			政党	A党	B党	C党	D党
			得票数	50	28	17	9
	割る数	1	50.0	28.0	17.0	9.0	
		2	25.0	14.0	8.5	4.5	
		3	16.7	9.3	5.7	3.0	
		4	12.5	7.0	4.3	2.3	
		5	10.0	5.6	3.4	1.8	
		議席数	5	2	1	0	
↓							
修正サンラグ式			政党	A党	B党	C党	D党
			得票数	50	28	17	9
	割る数	1.4	35.7	20.0	12.1	6.4	
		3	16.7	9.3	5.7	3.0	
		5	10.0	5.6	3.4	1.8	
		7	7.1	4.0	2.4	1.3	
		9	5.6	3.1	1.9	1.0	
		議席数	4	2	1	1	

しんぶん赤旗

日刊紙電子版
「最大2か月無料」
キャンペーン



購読・お試
し
コ
チ
ラ
か
ら

高市政権の民意切り捨てストップ

東京
民報

ご連絡・ご要望は 03-5972-1621、FAX03-5972-1590
2026年10月号外 日本共産党の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9平和会館5階)1965年11月12日 第三種郵便物認可